

ヒトゲノム編集技術のガバナンスと基礎研究・臨床応用に関する委員会  
(第25期第6回)  
議事要旨

1. 令和4年9月14日(水) 10:00~12:00

2. 形式: オンライン会議

3. 出席:

講師: やきつべの径診療所 夏刈郁子医師

委員: 阿久津幹事、尾崎委員、加藤委員長、岸田委員、古庄委員、島菌委員、高山副委員長、武田幹事、水野委員、北島委員

オブザーバー: 香川先生(連携会員)

事務局: 増子、河野

欠席: 高橋委員、土井委員

4. 配布資料:

- ・議事次第
- ・検討用アウトライン
- ・本委員会の活動報告(第二部夏季部会配布資料)

5. 議事

(1) 特任連携会員等について

- ・大阪大学大学院医学系研究科の北島康司准教授が先般の幹事会で特任連携会員として承認され、本委員会に加わることとなった旨、報告があった。
- ・土井委員から委員を交代したい旨の申し出があったことを踏まえ、委員長から香川知晶山梨大学名誉教授に新たに加わっていただきたい旨提案があり、承認された。

(2) 講演

やきつべの径診療所の夏刈郁子医師から、ヒトゲノム編集技術へ期待すること・危惧することに関して、自らのご経験等を踏まえ講演をいただいた。この中で、遺伝性ヒトゲノム編集と **inclusiveness**、旧優生保護法の反省は活かされているか、偶発所見の取扱に関連して患者・家族も交えた議論や統一した見解の必要性、遺伝カウンセラーや遺伝医療の専門家の育成の重要性等について、課題が示された。講演後、質疑応答が行われた。

(3) 提言に向けた検討

今後の検討に向けたアウトラインに沿って、提言の作成に向けた検討が行われた。

以上